


1歳～3歳のかわいい笑顔あつまれ

申込期限は毎月お誕生月の前月10日(土・日・祝日の場合は翌開庁日)。2月生まれのお子さんは**1月11日**までに写真またはデータを提出してお申込みください。
 ※ 締切日を過ぎると掲載できません。
 ※ 写真データがある場合は、データを提出してください。
 ▶ 役場本庁2階まちづくり総合政策課
 広報・広聴係 ☎ 22-7766




Fukutama ふくち玉手箱


みんなでつくる
ごきげんなページ“ふくたま”

HAPPY BIRTHDAY
1 月生まれ

グランドゴルフで仲間とリフレッシュ

認知症家族の会「ひまわりの会」が11月5日にグランドゴルフ交流会を開催しました。キャラバンメイト2人を含む計7人が、約1時間かけて8ゲートをプレー。初挑戦となる参加者たちは「適度な運動で継続しやすい」と満足した様子で語りました。

→ アトバイスし合いながら楽しく交流



自然の美しさを守り続けるボランティア

上野地区を中心に環境美化を行う「福智みどりの会」が11月28日に蛍の里として見物客が集う福智川周辺の整備を行いました。八島正幸会長は「きれいにしてると、また足を運ぼうという気持ちをもってもらえる」と約2時間の作業に汗を流しました。

→ 年4回、会員13人で草刈りや伐採



興国寺で年に一度の千手観音像ご開帳

興国寺で「千手観音大祭」が11月14日に開かれ、足利尊氏ゆかりの千手観音像が公開されました。貴重な年に一度だけのご開帳とあって、町内外から約80人が参加。華麗な光背を備え、重層な蓮華座の上から拝する人をやさしく包み込みました。

→ 県指定文化財の観音堂にある観音像



弁城小の児童たちが認知症サポーターに

弁城小で11月12日に「認知症サポーター養成講座」が開催され、4～5年生27名が参加しました。認知症のかたの行動や心理症状を伝える紙芝居をキャラバンメイト4名が朗読。受講した児童たちは「認知症キッズサポーター」に認定されました。

→ 心情を察し応援者になるよう伝授



「yori-toko」で菊池恵楓園金陽会作品展

「yori-toko」(弁城)が11月28日から一週間、絵画展「『知らない』を観に行こう。」を開きました。菊池恵楓園(熊本県)の絵画クラブ・金陽会のメンバーが描いた13点を展示。来場者たちは、作品を通してハンセン病回復者の想いに心を寄せました。

→ 大勢の鑑賞者が来場した最終日



ふくちオレンジ喫茶によるクリスマス会

ふくちオレンジ喫茶が、12月10日に福智町中央公民館でクリスマス会を行いました。認知症のかたとその家族など8人が参加。主催者の久富達也さんは「日頃の感謝を込めたこの会で、さらに参加者同士の絆を深められた」と目を細めました。


→ 「ふるさと」の合唱で最後を飾る



親睦を深める「スポーツレクリエーション」

障がいのある子どもやその家族などのつながりの場「ほのぼのカフェ」が11月28日に赤池体育センターで行われました。今回のスポーツレクに21人が参加。「フライングディスク」で参加者全員が声かけや応援するなど、一体感が生まれました。

→ 直徑1mの輪の輪がけ、投げる参加者



身近な文化財から地域の歴史を学ぶ授業

12月に町内の全小学校で、町文化財担当による社会の授業が行われました。授業では直方市の「岡森井堰」とその建設者「渡辺善吉」について各児童が調べ学習。江戸時代に農業用水を供給し、稲作を可能にした井堰の功績を学びました。

→ 児童の質問に詳しく解説(上野小)



「拳修館」が稽古場の金田稻荷神社を清掃

空手道「拳修館」の練習生12人が12月6日に金田稻荷神社を清掃しました。無病息災の祈願と心身の鍛錬を兼ねた道場の恒例行事です。**部員募集中! 練習日時▶**毎週 月・火 17時30分開 始 **場所▶**金田稻荷神社 **☎** 090-8763-7977

→ 感謝の念を込めて床を雑巾掛け



方城中バスケ部が田川地区新人戦で好成績

方城中バスケ部が、11月6・7日に開かれた「田川地区新人戦バスケットボール大会」で、男子優勝、女子3位の好成績を収めました。石谷敏行監督は「結果に満足せずに練習を重ね、県大会出場を目指して筑豊大会に挑みたい」と力を込めました。

→ 誇らしげな表情の方城中バスケ部



木戸さん家の「ナニコレ!」珍芋 Season 2

木戸勝正さん(金田)が11月上旬に、自身の畑で珍しい形のイモを収穫しました。昨年に引き続き、今年はカモのつがいとその子どもらしき形のイモを発見。木戸さんは「本当にめでたい。どんな幸運があるのか楽しみ」と心を躍らせています。

→ 特定が生えた小カモ風芋が自慢



上弁城・春田地区合同で疫病退散を祈願

「上弁城六夜待」と「春田六夜様」の実行委員会が合同で11月13日に、コロナ退散を願う決起集会を行いました。コロナ禍で2年連続で中止を余儀なくされた両祭。永末光一実行委員長は「地域の伝統行事を来年こそは」と決意を固めました。

→ 合同に常連の出渡者が演奏を披露

